

## 〈自主的努力項目記入書式〉

提携先	ちばみどり農業協同組合	記入日	2009//10/29
登録消費材名	ちばあさひ米 3kg・5kg、無洗米ちばあさひ米 3kg・5kg		

### I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・部会での全体会議・栽培講習会等を行い、消費材基準農薬04-13-01項目の「化学合成農薬の成分回数減少」に向けた取り組みとして全体会議や栽培講習会の開催による薬剤の統一化を図ってきたが、旭市内は海側から山（丘）側まで地域が広がっており、雑草の種類も違う為、統一薬剤による防除が難しくなっている。
- ・ジャンボタニシ（スクリミンゴガイ）による定植後の苗の食害が増えており、冬場の耕起による耕種防除のみでは対応が難しくなっている。
- ・斑点米対策として、カメムシの吸汁害を減らすべく畦畔の草刈り機を部会にて2台導入し活用しているが今まで以上に適期防除が必要となっている。

### II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・部会での全体会議・栽培講習会により化学合成農薬の種類・成分を減らすべく努力し、準会員の一部ではあるが、種もみ消毒時に温湯消毒および微生物農薬の使用へと誘導できたが、本年度は更なる推進を行い準会員全体への温湯消毒および微生物農薬の使用拡大へとつなげていきたい。
- ・旭市環境循環型農業モデル事業（愛称：サンライズプラン）推進協議会の生き物調査を継続的に行い、生産者・消費者の交流が深められた。また協議会の活動へ積極的に参加した。（活動として、旭市なの花祭りやナタネの試験栽培・乾燥・調整・出荷への参加など）

### III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・部会での全体会議・栽培講習会等を行い、消費材基準農薬04-12-13項目の「劇物指定農薬の不使用」を達成するべく努力する。
- ・昨年度正会員の種もみ消毒を温湯消毒および微生物農薬への切り替えを行い、本年度は準会員への温湯消毒および微生物農薬への更なる推進を行い切り替えを図って行く。
- ・旭市環境循環型農業モデル事業（愛称：サンライズプラン）推進協議会による生き物調査を本年度も自主開発米部会水田および慣行水田で継続的に行い、環境に配慮した地域の取り組みへ積極的に参加する。
- ・昨年度飼料用米の作付け計画・栽培を行ったが、本年度も引続き作付け計画の調整および普及を図る。